かとう学園 宗像市立河東中学校 学校通信 2号（5月）

第41回宗像市立河東中学校体育祭

練習期間から本番まで晴天に恵まれ、河東中生徒の力を集結した素晴らしい体育祭となりました。

７ つのどのブロックも、そして学年もクラスも、一人一人が体育祭のテーマ「一笑懸命 ～太陽よりも熱く輝け～」の言葉通り、一生懸命に全力を尽くし、輝いていました。体育委員長の　　さん、　　さんをはじめ、ブロック長やリーダー、生徒会役員のみなさんを中心に、９ 年生が自らの行動と態度で下級生を力強く引っ張ってくれました。この体育祭の取り組みを通して、「みんなで団結して行事を創り上げる喜び」や「協力することの大切さ」、「場にふさわしい行動」、「やり遂げた後の達成感や充実感」など、多くのことを学んだと思います。ここで得た学びをこれからの学校生活に生かし、さらに大きく成長してくれることを願っています。PTA本部の皆様、サポート委員の皆様、そして保護者の皆様には、体育祭が円滑に運営できるよう多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

体育祭を振り返って

【体育委員長　　さん】

私は今回の体育祭を通して、全員で協力する大切さを改めて感じました。体育祭練習中はなかなか声が出なかったり、動きがそろわなかったりして、うまく進まないこともありました。しかし、ブロックリーダーやブロック長が中心となり積極的に声をかけ、一人一人が少しずつ意識して行動するようになりました。すると練習が進むにつれて、学年やリーダー関係なく声をかけ合ったり、自分から行動する人が増えたり、少しずつ全体の雰囲気がまとまっていったように感じます。体育祭当日には、一人一人が競技を真剣に、楽しく取り組み、同じブロックを全力で応援する姿がとても印象に残っています。今年の体育祭テーマである「一笑懸命～太陽よりも熱く輝け～」のように、全員が笑顔で全力を出し切ることができた体育祭になったと思います。また、競技だけでなく、係の仕事を全員が一生懸命したからこそ、この体育祭を作り上げられたと思っています。私も体育委員長になり、中学校生活最後の体育祭を思いっきり楽しむことができました。ありがとうございました。

【体育委員長　　さん】

みなさん体育祭本当にお疲れさまでした。一人一人が頑張ってきたからこそ、体育祭を笑顔であふれさせることができたと思います。私はみんなで作り上げたあの体育祭を絶対に忘れません。

七年生は初めての体育祭で分からないことも多かったと思いますが、先輩たちの話をしっかり聞き、七年生らしいかわいらしいダンスを踊っていました。八年生は二回目の体育祭で、慣れて気が緩んでしまいそうな時もあったと思いますが、九年生の指示をしっかり聞いて行動できていました。そして九年生は最後の体育祭で、悔いが残らないよう学年リレーや競遊などに全力で取り組み、勝ち負けに関係なく最高の思い出を作ることができたと思います。この体育祭をきっかけに、河東中を今まで以上に笑顔と活気であふれる学校にしていきましょう！